災害対策カード

氏　名：

住　所：
携帯TEL：
Email：
生年月日：　/　/　血液型：　型 Rh ＋ / －
作成日：

防災対策宣言

私たちは、大震災発生時でも、
1 週間 以内で、
通常生産の 50%復旧
を実現します。

震度 6 弱以上発生時の行動

➡ 就業時間内

社内：リーダーの指示に従い避難
社外：『安否確認』メールを送信

➡ 就業時間外

メールアドレスを記入してください へ
『安否確認』メールを送信

《メールの書き方》

件名　不要
本文　1. 自分の安否（ぶじ／けが）
　　2. 家族の安否（ぶじ／けが）
　　3. 今いる場所（うち／そと）

【記入例】

宛　先	メールアドレスを記入してください
件　名	
本　文	ぶじ　けが　うち

【出社の判断基準】
原則全社員出社（出社不要の場合のみ会社より連絡）
交通機関マヒ、ライフライン寸断時は自宅待機

会社への連絡手段

会社と連絡が取れない時は、下記を活用

① E メールを利用

メールアドレスを記入してください

② NTT 災害用伝言ダイヤルを利用

公衆、携帯電話から自身の安否を録音

【録音●】

1 7 1 → 1 → 自分の電話番号

（プッシュ式の場合）→ 1 # →話す
（ダイヤル式の場合）→ 話す

（録音を確認 9 # ／録音を訂正 8 # ）

【再生▶】

1 7 1 → 2 → 自分の電話番号

（プッシュ式の場合）→ 1 # →聞く
（ダイヤル式の場合）→ 聞く

（再度聞く 9 # ／次の伝言を聞く 8 # ）
（録音を追加する場合 3 # ）

非常時持出しリスト（就業時間外）

- ☐ 携帯電話、充電機器
- ☐ 貴重品（現金、銀行カード）
- ☐ 身分証明書（免許証、健康保険証）
- ☐ 水、食料、薬
- ☐ 防寒用品
- ☐ 懐中電灯、ラジオ、電池
- ☐ 軍手、ヘルメット、ずきん

《緊急連絡先 1》（会社）

《緊急連絡先 2》（家族）

家族 1：　（続柄：　）
携　帯：
Email：

家族 2：　（続柄：　）
携　帯：
Email：

《緊急連絡先 3》（家族）

家族 3：　（続柄：　）
携　帯：
Email：

家族 4：　（続柄：　）
携　帯：
Email：

《緊急連絡先 4》（その他）

氏　名：　（関係：　）
携　帯：
Email：

氏　名：　（関係：　）
携　帯：
Email：

《緊急避難場所》（就業時間内）

（一時集合場所場所）

（一時避難場所）

（広域避難場所）

《緊急避難場所》（就業時間外）

（一時避難場所）
　在宅時：
　学校時：

（広域避難場所）
　在宅時：
　学校時：

《その他記入欄》

（学校、カード会社、主治医病院など）